

通信 No.39

2014年10月20日

編集・発行：公益社団法人教育文化協会

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館1F

tel 03-5295-5421 fax 03-5295-5422

URL <http://www.rengo-ilec.or.jp>

発行責任者：専務理事 木村裕士

「連合寄付講座」を2大学で開講中～法政大学と埼玉大学で～

9月16日(火)より、法政大学キャリアデザイン学部において、連合寄付講座を開講しました。法政大学は、昨年に引き続き2年目の開講です。第1回の講義では、梅崎修法政大学キャリアデザイン学部准教授より、「労働組合とは何か、なぜ必要なのか」をテーマにオリエンテーションを行い、今後の講義でゲストスピーカーの方々からお話ししていただく内容について紹介がありました。第2回では、教育文化協会の南雲弘行理事長が、本講座を通じて学生の皆さんに学んでいただきたいことを伝えるとともに、ご自身の経験などを交えた講義を行いました。10月の第2週よりケーススタディに入り、各テーマに沿った課題と取り組みについて、ゲストスピーカーの講義が展開されます。



10月1日(水)からは、埼玉大学経済学部においても連合寄付講座を開講しています。埼玉大学では、2007年より講座を開講しており、今年で8年目を迎えます。

これまでの経験を踏まえ、講座運営のさらなる充実・発展につなげていきたいと考えています。

連合寄付講座は、連合、連合構成組織、地方連合会のご協力なしには企画・運営できないものです。みなさまのご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援をお願いいたします。

なお、連合寄付講座は聴講ができます。聴講を希望される方は、ILECホームページよりお申し込み下さい。また、過去の講義録についてもホームページでご覧いただけます。

2014年度 法政大学 秋学期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1 9/16	【オリエンテーション】講義：労働組合とは何か	梅崎修 法政大学准教授
2 9/30	【開講の辞】連合寄付講座で法政大学の皆さんに学んでほしいこと 【課題提起①】「働くということ」をどう捉えるか～労働組合がめざす社会像とは～	南雲弘行 教育文化協会理事長
3 10/7	【課題提起②】いま働く現場で何が起きているのか～労働相談からみた若者雇用の現状～	村上陽子 連合非正規労働センター総合局長
4 10/14	【ケーススタディ①】ワークルール確立に向けた取り組み（労働時間問題を中心に）	大長俊介 生保連中央書記長
5 10/21	【ケーススタディ②】雇用と生活を守る取組み（産業空洞化への対応を中心に）	川野英樹 JAM副書記長
6 10/28	【ケーススタディ③】男女がともに働きやすい職場づくりに向けた取り組み	菅原昌也 オール・デサント労働組合 中央執行委員長
7 11/4	【ケーススタディ④】公正・公平な待遇とキャリア形成に向けた取り組み	伊東雅代 連合総研主任研究員
8 11/11	【ケーススタディ⑤】労働諸条件の維持・向上に向けた取り組み（2014春闘を中心に）	相原康伸 自動車総連会長
9 11/18	【ケーススタディ⑥】非正規社員の組織化と待遇改善に向けた取り組み	柴原美和 ANA労働組合中央執行副委員長
10 11/25	【ケーススタディ⑦】公務労働の現状と公共サービスの役割	青木真理子 自治労総合企画総務局長
11 12/2	【課題への対応①】グローバリゼーションにどう対応するか ～国際労働運動の役割とは～	團野久茂 国際労働財團専務理事
12 12/9	【課題への対応②】ワーク・ライフ・バランス社会の実現に向けて ～今、求められる働き方の変革～	南部美智代 連合副事務局長
13 12/16	「働くということ」と労働組合（それぞれのケーススタディの振り返り、 働く者を取り巻く課題と労働組合の役割の再確認、グループワーク含む）	法政大学教員
14 1/13	グループディスカッションによる論点整理と重要な論点の確認 (パネルディスカッションに向けて)	法政大学教員
15 1/20	【修了シンポジウム】「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて	古賀伸明 連合会長 法政大学学生（若干名） 【コーディネーター】法政大学教員

※講義時間は、火曜日 15:10～16:40

2014年度 埼玉大学 後期「連合寄付講座：働くということと労働組合」プログラム

日程	講義テーマ	ゲストスピーカー
1 10/ 1	【開講の辞】連合寄付講座において埼玉大生に学んで欲しいこと 「働くということ」をどうとらえるか	南雲弘行 教育文化協会理事長
2 10/ 8	今、働く場で何が起きているのか 一労働相談からみた職場の現状	田島恵一 連合中央アドバイザー
3 10/15	労働組合をつくる	野角裕美子 自治労組織拡大局長
4 10/22	非正規労働者の組合加入をすすめる	櫻井大介 全労金中央副執行委員長
5 10/29	労働時間を短縮する	上田裕一郎 全国本田労働組合連合会副会長
6 11/ 5	仕事と生活の両立をはかる	谷口直子 キリンビール労働組合中央執行委員
7 11/12	グローバル時代でのCSRに取り組む	末吉武嘉 高島屋労働組合中央執行委員長
8 11/19	公正な賃金制度を確立する	芳野友子 JUKI労働組合中央執行委員長
9 11/26	地域で雇用と生活を守る	佐藤道明 連合埼玉事務局長
10 12/ 3	すべての働く者の生活向上をめざして	須田孝 連合総合労働局長
11 12/10	男女平等参画社会の実現にむけて	南部美智代 連合副事務局長
12 12/17	若者を支える連合の取り組み	花井圭子 連合総合政策局長
13 1/ 7	働く人々の生活と政治とのかかわり	高木郁朗 日本女子大学名誉教授
14 1/14	教員によるまとめ	金井郁 埼玉大学准教授
15 1/21	【修了講義】「働くということと労働組合」	神津里季生 連合事務局長

講義時間は、水曜日16:20~17:50

地方連合会 寄付講座

今秋より大分大学で新規開講

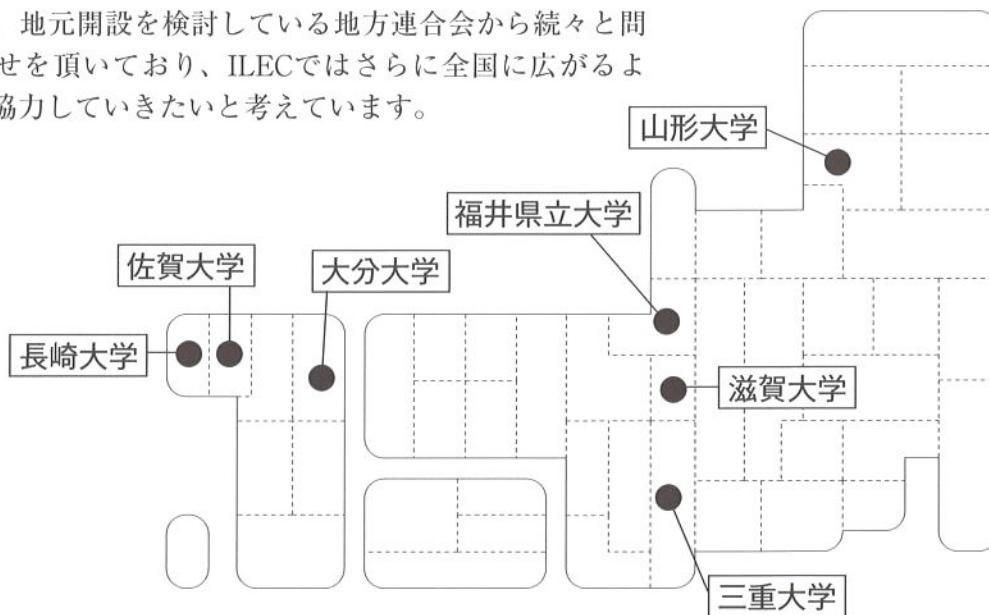
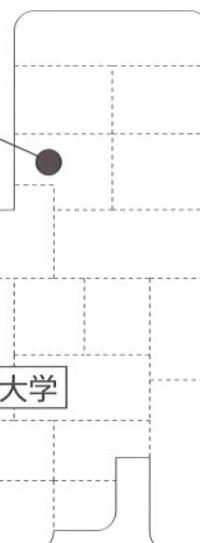
地方連合会においても連合寄付講座の新規開設が相次いでいます。

山形大学（連合山形主催）、佐賀大学（連合佐賀主催）
福井県立大学（連合福井主催）、三重大学（連合三重主催）
滋賀大学（連合滋賀主催）、長崎大学（連合長崎主催）に
続き、2014年度後期からは、連合大分が大分大学で開設しました。

これにより、地方連合会による連合寄付講座は計7大学となりました。

大分大学では、10月から来年2月まで、労働運動の第一線で活躍する連合役員が、地域の労働事情を踏まえながら講義を行います。

現在、地元開設を検討している地方連合会から続々と問い合わせを頂いており、ILECではさらに全国に広がるよう支援協力していきたいと考えています。



Rengoアカデミー第13回マスターコース修了式を開催

—受講生24名全員が修了—

2013年11月に開講したRengoアカデミー第13回マスターコースの受講生24名が全員そろって修了しました。

9月25日(木)に連合会館で開催された修了式では、南雲弘行理事長による主催者挨拶の後、古賀伸明Rengoアカデミー校長より修了生一人ひとりに修了証が手渡されました。修了式とその後の懇談会には、ゼミナールでご指導いただいた先生方、修了生の出身組織代表者にもご出席いただきました。また、修了生より今後の決意表明がされるとともに、ゼミナールの先生方より激励のメッセージをいただきました。



修了生のみなさんの今後の活躍を祈念いたします。あわせて、受講生を送り出していただいた各組織のご協力に感謝申し上げます。

修了論文集はすでに会員組織に配布しており、また、ホームページにて論文概要をご覧いただくこともできます。なお、11月16日より第14回マスターコースが開講いたします。各組織におかれましては、引き続きのご支援をよろしくお願ひいたします。

第13回修了生および修了論文のテーマ

ゼミ	修了生	修了論文のテーマ
禹	加藤 将文 (印刷労連)	海外進出事業所における競争力・CSRの両立と労働組合の役割
	久保 啓子 (連合本部)	若者と連合運動 —若者のハートをキャッチして運動の活性化を—
	近藤 洋平 (生保労連)	グローバル化する中での労働者の権利と労働組合の役割 —「グローバル枠組み協定」の広がりを展望して—
	嶋崎 広光 (自動車総連)	働き方の改善と組合の役割 —企業別組合が果たす役割—
	根岸 朋宏 (JAM)	中小企業の「ものづくり」を守るために労働組合にできること
木本	鈴木 博行 (情報労連)	非正規化・晩婚化時代の労働組合の役割 —男性非正規労働者のインタビュー調査を中心に—
	関 美紗子 (日教組)	婚外子差別から見る家族と社会 —多様なライフスタイルを実現する社会にむけて—
	中原 啓二郎 (電力総連)	高齢者雇用の現状と課題 —技術継承が不可欠な職場を中心に—
	前田 藍 (自治労)	市民自治を育む自治体職員の役割 —地域包括ケアシステムにおける保健師の働き方から考える—
毛塚	小野崎 貴志 (運輸労連)	メンタルヘルスと労働組合の取り組み
	高田 佳宏 (自動車総連)	事業再編における労働組合の課題 —グループ経営施策による自企業の雇用確保の観点から—
	野中 孝行 (全労済)	高齢化社会における雇用問題と労働組合の役割 —継続雇用制度を超えた高年齢者雇用の実現に向けて—
	葉葺 龍 (JEC連合)	中小企業における企業再編と労使関係システムについて
	濱崎 香 (UAゼンセン)	労働者派遣制度の現状と法改正の課題
高木	木内 崇文 (労金協会)	労働金庫の余資運用の新たな可能性について
	小峰 久和 (労済労連)	労働者自主福祉事業団体における労働組合のあり方
	新野 大 (UAゼンセン)	中小労働組合の再生と活性化に向けて
	別宮理恵 (連合岐阜)	男女がともに働く職場をつくる
	山田 千鶴 (電機連合)	産別共済の現状と役割
橋元	蒲池 仁 (自治労)	自治体労働組合の組織強化に向けて
	亀田 幸雄 (運輸労連)	トラック運輸産業の仕事が生涯を全うできる職業となるために
	坂根 元彦 (JP労組)	労働組合のあるべき活動、組合員に求められる活動とは何か
	茂木 隆浩 (情報労連)	総労働時間の短縮を目指すために、現在の取り組みのさらなる促進に向けて
	吉山 秀樹 (UAゼンセン)	労働組合の組織強化に必要なこと —組織基盤の問題を中心に—

第11回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」

～入賞提言が決まりました～

第11回「私の提言－『働くことを軸とする安心社会』の実現にむけて－」運営委員会（委員長・南雲弘行（公社）教育文化協会理事長）は、9月8日（月）に第2回運営委員会を開催し、応募提言の審査を行いました。当事業は、教育文化協会と連合が共催で取り組んでいるもので、「働くことを軸とする安心社会」の実現にむけた提言の募集を行い、11回目を迎えた今回は17編の応募が寄せられました。

審査の結果、「優秀賞」の選出はなく、「佳作賞」2編、「奨励賞」3編の入賞を決定しました。「優秀賞」の選考にあたっては、論文のような構成力や完成度よりも、個々の経験を踏まえたオリジナリティのある提言になっているか、安心社会実現のための具体的な提言になっているかなどの点を重視し総合的に評価した結果、「優秀賞」は、今回初めて「該当なし」と判断しました。

10月2日（木）の連合第68回中央委員会では、表彰式に代えて上記の審査経過を報告しました。

また今回、佳作賞に入賞した小畠明さんは第1回（佳作賞）・第2回（優秀賞）に続く3度目の受賞、角谷博さんは前回につづき2度目の奨励賞受賞となりました。

教育文化協会では、入賞提言5編を掲載した入賞提言集を発行し、会員組織に配布しております。あわせてホームページにも掲載しておりますので、是非ともご一読ください。

<入賞一覧>

(敬称略)

賞	氏名	所属	提言名	
優秀賞		該当なし		
佳作賞	小畠 明	運輸労連 中央書記長	「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた一考察	
	沼田 隆	自治労東京 豊島区職員労働組合 (ネットワーク豊島) 顧問	「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて 連合の地域運動・地協活動の抜本的強化を！	
奨励賞	長田祐生子	一橋大学社会学部4年生 連合寄付講座受講生	働くことを軸とする安心社会の実現に向けて 一労働組合の中核にある、労働組合の組織率を上げ るために—	
	角谷 博	情報労連 NTT労働組合 持株グループ本部 NTTビジネスアソシエ分会 組合員	教育支援制度拡充に向けた提言 ～非正規雇用労働者の貧困問題をトリガーに～	
	中村 光美	セラミックス連合 岩尾従業員労働組合 組合員	出産、そしてがん	

Rengoアカデミー・マスターコース講義録No.19『労働運動の歴史』好評発売中

第13回マスターコースで2日間にわたり、高木郁朗R e n g o アカデミー副校長（日本女子大学名誉教授）が行った講義「労働運動の歴史」（講義日：2013年11月25日、26日）を収録したものです。前編では、世界と日本の労働運動、とくに労働組合の成立から発展にいたる闘いの歴史をたどり、後編では、第二次世界大戦後、連合がどのように結成されたかについて、労働運動にとって重要な局面を追いながら講義しています。歴史の事実を知るだけではなく、労働運動の現在と未来を考える素材として活用してほしい一冊です。

発 行 2014年7月

編集・発行 公益社団法人 教育文化協会

頒布価格 200円+税 （お申し込みは教育文化協会まで）

一定時総会・理事会 開催報告－

教育文化協会は、2014年9月19日(金)に、連合会館において、第2回定時総会を開催しました。定時総会では、公益法人移行初年度である2013年度(2013年7月1日～2014年6月30日)事業報告・決算および2014年度の役員報酬総額、理事の選任の4議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

これに先立ち、2014年6月19日(木)の第7回理事会において、2014年度(2014年7月1日～2015年6月30日)事業計画・収支予算、特別寄附金の受領、役員業務災害補償規程の4議案について提案され、いずれも提案通り承認されました。

公益法人移行後2年目となる2014年度は、本協会の事業目的の達成に向けた取り組みを通じて、労働運動を担う人材育成、労働教育に対するニーズに応えるべく、各事業の質的充実に努めて参ります。

※2013年度事業報告・決算報告および2014年度事業計画・収支予算は、ホームページに掲載しています。

公益社団法人教育文化協会 理事・監事・顧問一覧

理事 (26名)

役職名	氏 名	所属団体・役職(職業)	役職名	氏 名	所属団体・役職(職業)
理事長	南雲 弘行	教育文化協会 理事長	理事	岸本 薫	電力総連 会長
副理事長	神津里季生	連合 事務局長	理事	永芳 栄始	JEC連合 会長
専務理事	木村 裕士	連合 副事務局長	理事	山浦 正生	運輸労連 委員長
常任理事	仁平 直美	教育文化協会 常任理事	理事	藤井 一也	私鉄総連 委員長
理事	八野 正一	UAゼンセン 副会長	理事	松谷 和重	フード連合 会長
理事	青木真理子	自治労 総合企画総務局長	理事	山口 浩一	交通労連 委員長
理事	郡司 典好	自動車総連 事務局長	理事	立川 博行	海員組合 国際・国内政策局長
理事	野中 孝泰	電機連合 書記長	理事	齊藤 憲夫	労金協会 常務理事
理事	藤川 慎一	JAM 副会長	理事	阿部田克美	全労済 常務執行役員
理事	岡本 泰良	日教組 書記長	理事	菅家 功	連合総研 専務理事
理事	操谷 孝一	基幹労連 副委員長	理事	團野 久茂	国際労働財團 専務理事
理事	小俣 利通	JP労組 委員長	理事	中村 圭介	東京大学 教授
理事	春木 幸裕	情報労連 書記長	理事	廣瀬真理子	東海大学 教授

監事 (3名)

役職名	氏 名	所属団体・役職(職業)	役職名	氏 名	所属団体・役職(職業)
監事	塙田 正行	連合 総合総務財政局長	監事	岩田 一喜	公認会計士・税理士
監事	浜田 一郎	生保労連 委員長			

顧問 (4名)

役職名	氏 名	協会経歴	役職名	氏 名	協会経歴
顧問	西村 寿紀	元 専務理事	顧問	高木 剛	前 Rengoアカデミー校長
顧問	須藤 安三	元 副理事長	顧問	岡部 謙治	前 理事長

第2回総会にて次の役員が退任しました。

(前) 理事 浅沼 弘一(電機連合 前書記長)

臨時総会にて次の役員が退任しました。

(前) 理事 兼子昌一郎(基幹労連副委員長)

在任中ひとかたならぬご厚誼を賜り、心より感謝申し上げます。

～これからの教育文化協会の事業予定～

事業名	日 程	場 所
第9回労働法講座（基礎コース）※1	10月27日（月）～28日（火）	連合会館（東京）
ワークルール検定（初級）※2	11月23日（日） 【講習】9：30～10：30 【検定】10：50～11：35	札幌、小樽 青森、東京 新潟、愛知、愛媛
Rengoアカデミー 第14回マスターコース（前期）※3	11月16日（日）～21日（金）	メロンディアあざみ野（横浜）

※1 すでに募集は締め切らせていただきました。多数のお申込ありがとうございました。

※2 10月26日（日）締め切りです。

詳細は、ワークルール検定のホームページ<http://workrule-kentei.jp/index.php>でご確認ください。

※3 すでに募集は締め切らせていただきました。

詳細は、ILECのホームページ<http://www.rengo-ilec.or.jp/academy/14/index.html>でご確認ください。

一事務局より 退任・着任者からのご挨拶一

○教育文化協会では、Rengoアカデミー・マスタークラス、連合寄付講座などの主要事業に携わらせていただき、出身産別では経験することの出来ない貴重な経験を数多くさせていただきました。3年間という短い期間ではございましたが、みなさまとかけがえのない時間を過ごせたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。 （小島光明ディレクター…生保労連へ復帰）

○2007年より、主に経理、幸せさがし文化展を担当してきました。おかげさまで、昨年7月に公益認定をうけることができました。また、文化展では毎回三千を超える作品をご応募いただきました。10月からは、日本労使関係研究協会に出向することになりました。ILECでの経験を活かし、新たな分野で職責を果たしていきたいと思います。ありがとうございました。 （池田直彦ディレクター…連合本部へ復帰、日本労使関係研究協会へ出向）

○Rengoアカデミー・マスタークラスや連合寄付講座を担当するなかで、多くの方と出会い、お話を伺えたことは、大きな財産となりました。教育文化協会での経験を活かして、連合広報・教育局での業務に取り組んでまいります。4年間どうもありがとうございました。今後ともご指導賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。 （遠藤和佳子ディレクター…連合本部へ復帰）

○新しい職場と業務への不安と期待がいっぱいです9月1日付けで着任いたしました。ただ、不慣れなことや、覚えることがたくさんあるなど、日に日に不安が増しています。こんな状況ですが、1日も早く仕事に慣れ、教育文化協会の業務に貢献していきたいと思いますので、みなさまのご指導・ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。 （新井康弘ディレクター…生保労連より派遣）

○このたび10月1日付で連合本部より教育文化協会出向を命ぜられ、過日着任いたしました。 教育文化協会の事業に初めて携わることとなり、浅学の身ではございますが、新しい環境のもと、微力ながら努力精進する所存でございますので、今後とも関係者のみなさま方のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。 （陳浩展ディレクター…連合本部より出向）

編集後記

おかげさまで、公益法人移行後1年が無事にすぎ、2年目の事業年度が始まっています。皆様のご協力に感謝いたします。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。 （nike）